

散策マップ



大宮宿
上尾宿
桶川宿



にぎやかな大宮宿を抜けて、川越道や岩槻道などが交差する交通の要衝・上尾宿、府川家が治め、紅花の名産地としても知られた桶川宿、宿はないが宿駅が置かれた北本をたどるコース。由緒ある名刹が多く、多彩な名所をめぐるそぞろ歩きが楽しい。



五街道とは、江戸時代「江戸日本橋」を起点とした「東海道」「中山道」「日光道中」「奥州道中」「甲州道中」の5つの街道です。各街道には宿が置かれ、宿泊施設や旅籠、荷物の運搬、通信などのために、人馬が常置されました。国土交通省では、日本の交通において重要な働きをするこの五街道の役割と魅力を再発見し、また道路のむつて役割や変遷などを確認しながら、今後のより豊かな道づくり、まちづくりを、皆様のご協力をもとに進めていきたいと考えています。

江戸時代の中山道は、日本橋から京都・三条大橋までの67宿69次、全長約135里（約530km）。埼玉県では、戸田から本庄の勅使河原まで、蕨や大宮、桶川や熊谷などを経る約19里（約75km）



※浮世絵は埼玉県立博物館所蔵